

発行所
医療法人財団五省会西能病院
〒930 富山市五福1130
TEL (0764) 41-2481(代)
発行人 西能 正一郎

五省会ニュース

五省
一、至誠、悔るなかりしか
一、言行、恥るなかりしか
一、氣力、怠るなかりしか
一、努力、減るなかりしか
一、不精、怠るなかりしか

貫く棒の如きもの

正月はユズリ葉に乗って

兼久文治

新春随想

門徒のある男が寺の高僧のところに八年の始のあいさつに「何か書きたい言をせよ」と書き初め「とて一筆」と所望した。高僧は「はばらく考へ、親死に、子死に、孫死ぬ」と書いて渡した。男は「こんな縁起の悪いもの」と顔を変えた。高僧は「親が死んでから子孫が死ぬ、これが逆だ。たまたまだ。精いっぱい仕事をすれば次の代に幸せうわらべ歌もある。万葉集には「弓弦葉」(ゆずり葉)と詠まれているし、枕草子に「ゆずり葉の、いみじう、ふさやかにつやめき」とあるから随分古くから日本に自生した植物だろう。大判、小判の形がユズリ葉に似ているので室町期には「ゆずり葉金」とか「ゆずり葉銀」とか呼んだらしい。もともと温暖系の植物で、高山などに見られるのは背が低くエゾユズリ葉という種類だそう。昨年十一月、天皇陛下代替わり儀式として大嘗祭が行われた。この時、新天皇が神前に供えられた酒や米を盛った器は、このユズリ葉で作られており、穀の霊の再生継承の象徴とされている。「餅のこなユズリ葉につきめでたけれ」という虚子の句がある。

説明と同意

西能 竝

思いやりの心と、十分な対話を

良い医療は人間関係の確立

最近、医療の現場で、インフォームド・コンセントという言葉がよく耳にする。これは日常診療において、医師が十分な説明を患者に行い、患者がそれに同意することを意味している。アメリカでは、医療訴訟の予防手段として、重要視されている傾向もあるが、毎日の診療を行う際に、治療を行う医師と、それを受ける患者の間に、相互理解の人間関係が確立されなければ、治療は円滑に進められない。又、その結果は期待どおりにならないであろう。患者に対して、病名を知らせ、病状の状態を話し、治療法を説明する。手術を必要とする場合には、医師より手術の目的、内容、治療期間さらには手術に伴う危険度などが説明され、患者は十分な理解のもとに手術に同意する。医師と患者の間に、治療に対する理解がなされ、両者の協力によって、

た酒や米を盛った器は、このユズリ葉で作られており、穀の霊の再生継承の象徴とされている。「餅のこなユズリ葉につきめでたけれ」という虚子の句がある。

「去年今年(こぞことし)貫く棒の如きもの」という名句がある。終戦直後の正月に鎌倉駅で文士の書展をした時に掲げてあった。これを読んだ川端康成さんが感嘆して随分書いたので一躍有名になった。「去年今年」という新年の季語が歳時記に定着したのもそのころといわれている。しかし私はこの句を余り好きでなかった。禅僧が問答などで驚かすためわざと人食った言葉を用いるが、この句にそんなにおいがあったからだった。「去年今年」のもつ抒情性がなく思えた。

ところが、最近、その達観した心境に自分はないなくても「禅の一喝(かっ)にあつたような句」と川端さんが感じるのも無理はない気がするようになった。その心境と、人はいろんなことに出会い、喜怒哀楽織りなして昨年から今年へと歳月を重ねていくが、所詮、歳月は棒のように人生の糸(う)を余曲折を貫いているものだ、という思いである。

そう考えると「去年今年」という言葉自体に淡々と年を越していく悟りに似た老境が秘められていく気がする。「路地裏もあわれ満月去年今年(鷹女)」「命継ぐ深息しては去年今年(波郷)などの人間くさい句にも、新たな年への感嘆とか過ぎゆく年への感慨でなく、歳月の流れに身をゆだねて逆らわず、いわば「親遺言書の作製(なごり)」

②患者とその家族に受け入れる能力があること。
③医師と患者との関係が良好であること。
④告知後の患者のケア支援ができること。
⑤医師と患者の良好な人間関係の必要性を強調している。

しかし、医師と患者の間には当然ながら医学知識の差があるわけで、治療に責任を持つ医師は冷静で適正な判断を行い、患者の理解を得るべきである。

医療の現場だけではなく日常生活やビジネスにおいても説明と同意の原則は重要である。不十分な説明や理解不足のために人間関係を悪くしたり、取り引きの破綻をまねく恐れは常に存在する。少なくとも、病気に悩む患者さんに接する医療人は、それぞれの立場で思いやりの心と十分な説明と対話を行い、信頼されるより良い医療を進めて行きたいと願っている。

あすなろ

先日、漱石の「吾輩は猫である」を読み返して、第二章の元旦から十日までの新春風景の中にいる猫が、雑煮の餅を食べる描写のうまさに感嘆した。あぐりと餅の角に食いついたが歯を引こうとする引けない。かみ直そうとして動きがとれず、沼へ落ちた人が足を抜こうとあせるたびにぶくぶくと深く沈むように、かめばかむほど口が重くなり歯が動かなくなる。とうとう台所中あちこち飛び回る羽目になった。結局は家人に、堅く歯に食い込んだ餅を情け容赦なく引つ張ってとつてもらうことになるのだが、猫があわてふためき、踊り狂うさまが生き生きと描かれていた。しかし、今の機械つき餅ではこうはならないのでは...と思つた。昔の餅はつく時に手を抜かなかつたら、腰がしつかりして、いくら煮ても崩れず、強いねばりと弾力があった。古くから正月に餅を食べるようになったのも「歯固め」といって長寿健康への祈りをこめたものだった。今の餅は水っぽく、すぐどろどろになるから歯固めにならず猫を困らすこともなからう。餅だけでなく今の子供は固いものを口にしない。歯固めが出来ずアゴが張らないからノッペリした同じ顔付きをしている。いや猫も同様で餅どころかネズミもとらないしネズミまでが先日食パンのふちを食って散らしていた。

本年もよろしくお願い申し上げます 平成三年

医療法人財団五省会

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-------|----|-----|----|------|----|-----|----|------|----|-----|----|-----|----|------|-----|------|-----|------|-----|-------|-----|-------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-------|----------|
| 理事長 | 西能正一郎 | 理事 | 林敏彦 | 理事 | 米田寿吉 | 理事 | 岸口繁 | 理事 | 中尾哲雄 | 理事 | 西能竝 | 監事 | 石川実 | 監事 | 寛田英二 | 評議員 | 稲垣忠一 | 評議員 | 井上塩六 | 評議員 | 尾山征一郎 | 評議員 | 大上紀美雄 | 評議員 | 重松尚 | 評議員 | 神沢幹夫 | 評議員 | 西能孜 | 評議員 | 坂本重一 | 評議員 | 土田亮一 | 評議員 | 豊田文一 | 評議員 | 古沢富美 | 評議員 | 堀政夫 | 評議員 | 松井元太郎 | 西能病院職員一同 |
|-----|-------|----|-----|----|------|----|-----|----|------|----|-----|----|-----|----|------|-----|------|-----|------|-----|-------|-----|-------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-------|----------|



山本辰美

赤い車椅子

山本さんが三階病棟へ寄付した「赤い車椅子」に乗ってリハビリの入院患者さん

平成元年八月二十四日、会出場を阻んでいたが、努力が実を結ぶ。赤い車椅子がスタートした。二作目の青年団演劇「夕やけ小やけ」の劇大を四日後に控えていたため、退院した日の夜から練習に参加した。この作品で二年連続の全国大会に出場することができた。赤い車椅子がスタートした。二作目の青年団演劇「夕やけ小やけ」の劇大を四日後に控えていたため、退院した日の夜から練習に参加した。この作品で二年連続の全国大会に出場することができた。

向上心で納得できる生活を

いつも元気な笑顔で恩返し

「赤い車椅子」に乗ってリハビリの入院患者さん。山本さんが三階病棟へ寄付した「赤い車椅子」に乗ってリハビリの入院患者さん。山本さんが三階病棟へ寄付した「赤い車椅子」に乗ってリハビリの入院患者さん。

増車の通院バスがスタート

神通川以西の二つの新コースで

①コース (編中・長沢・金屋方面)		②コース (編中・長沢・金屋方面)	
1便	病院発 7:50	1便	病院発 9:10
2便	病院発 10:10	2便	病院発 11:15
1便	帰院 8:55	1便	帰院 9:55
2便	帰院 11:05	2便	帰院 12:00



遠星駅前通院バスを待つ患者さん

西能病院では地域の皆さまの要望に応えて、十一月十日から神通川以西の二つの新コースで通院バスを運行しております。運行は月・土・日、祝日は休みのコースと午前中二便、自由乗降です。利用の患者さんには、通院が便利になり、大助かりです。新コースの経路はつぎのとおりです。

①コース (編中・長沢・金屋方面) 病院→富山商業高校→神明→羽根→分田→船坂→遠星駅前→編中→長沢→金屋→寺町公民館→五福小学校→横一→下野→古里郵便局→平岡→一病院

②コース (奥羽・中老田・田原方面) 病院→茶屋町→追分茶屋(小矢部線)→吉作→住吉→花ノ木→中老田→老田小学校→新堀川橋(旧八号)→女子短大1号→北代→長岡墓地→桜谷→小學校→畑中→病院

便利になり大助かりです

午前中二便、自由乗り降り。西能病院では地域の皆さまの要望に応えて、十一月十日から神通川以西の二つの新コースで通院バスを運行しております。運行は月・土・日、祝日は休みのコースと午前中二便、自由乗降です。利用の患者さんには、通院が便利になり、大助かりです。新コースの経路はつぎのとおりです。

健康法の問題

大山 肇

第二次大戦中、ナチスドイツ軍の行った人体実験が戦後ニュルンベルグの戦争裁判で問題となり、「医学の人体実験は必ず被験者に説明をして同意を得ない限り行うべきでない」ということが決まりました。この考え方が後にヘルシンキでの世界医師大会でとりあげられ、「ヘルシンキ宣言」として発展し、インフォームド・コンセント(患者の納得と同意を得て治療するために充分説明すること)という言葉が生まれました。

高齢化社会をみつめて

こんな状態なので今日日本で「インフォームド・コンセント(説明と同意)」を行う時に医師側にも多くの困難があります。その一つとして「がん」を告知した時に、それからの患者の心の乱れに対応するための重荷を覚悟せねばなりません。又「私はこれで人生を終わりたい」と申し込まれた時に困惑します。元駐日アメリカ大使ライシャワさんが亡くなられた状況が報道されていた時、生前の遺言によると呼吸管理装置をはずして貰って死んでいくように願っていたことが医師に許されることになりました。

新春を病床で迎えて

力強い励ましに感謝

一日も早く理事長の笑顔を

私は昭和六十二年七月十六日に、この病院に入院しました。病名は頸椎損傷といわれて、歩くことができません。入院した翌日からリハビリで体や手足を一生懸命に動かす練習をはじめました。先生方の指導、看護婦さんたちのお力添えと力強い励ましの言葉でベッドから車椅子へ一人で移動できるようになりました。また両ひじをついで自分で起きられるようになりました。今日まで色々なことがありましたが、脈拍がだんだん少なくなり、目まがすようにになり、ペースメーカーを入れたこともありました。

健康、という宝物をかみしめる 心を支えた周囲の励まし。健康、普段はあまりにもそれが当たり前であった言葉が、今は入院して初めてその文字の重みを感じました。また、全身打撲と首の骨を折る意識不明の重症で富山県大病院に運ばれた体で、今、この病院に入院して、歩けるようになりました。今、この病院に入院して、歩けるようになりました。今、この病院に入院して、歩けるようになりました。

野上梅子(五九) 富山市大塚。健康、普段はあまりにもそれが当たり前であった言葉が、今は入院して初めてその文字の重みを感じました。また、全身打撲と首の骨を折る意識不明の重症で富山県大病院に運ばれた体で、今、この病院に入院して、歩けるようになりました。

心臓が最後の動きを止めるまで苦しみもつもある。心臓が最後の動きを止めるまで苦しみもつもある。心臓が最後の動きを止めるまで苦しみもつもある。

富山市大塚。健康、普段はあまりにもそれが当たり前であった言葉が、今は入院して初めてその文字の重みを感じました。また、全身打撲と首の骨を折る意識不明の重症で富山県大病院に運ばれた体で、今、この病院に入院して、歩けるようになりました。

私たちの環境は? ①

地球の温暖化 フロンガス、酸性雨... 富山県立保健医療大学 保健医学教授 鏡森 定信氏

富山県立保健医療大学 保健医学教授 鏡森 定信氏。富山県立保健医療大学 保健医学教授 鏡森 定信氏。富山県立保健医療大学 保健医学教授 鏡森 定信氏。

富山県立保健医療大学 保健医学教授 鏡森 定信氏。富山県立保健医療大学 保健医学教授 鏡森 定信氏。富山県立保健医療大学 保健医学教授 鏡森 定信氏。



「具体的な対策となると、難しいですね」と西能院長。富山県立保健医療大学 保健医学教授 鏡森 定信氏。富山県立保健医療大学 保健医学教授 鏡森 定信氏。富山県立保健医療大学 保健医学教授 鏡森 定信氏。

富山県立保健医療大学 保健医学教授 鏡森 定信氏。富山県立保健医療大学 保健医学教授 鏡森 定信氏。富山県立保健医療大学 保健医学教授 鏡森 定信氏。

わたしはこう思う

わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。

わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。

わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。

急激に温暖化する地球

炭酸ガスが地球を密閉状態に

「代替エネルギーの開発、経済発展のスピードを落とさない」と鏡森教授。富山県立保健医療大学 保健医学教授 鏡森 定信氏。富山県立保健医療大学 保健医学教授 鏡森 定信氏。富山県立保健医療大学 保健医学教授 鏡森 定信氏。

